

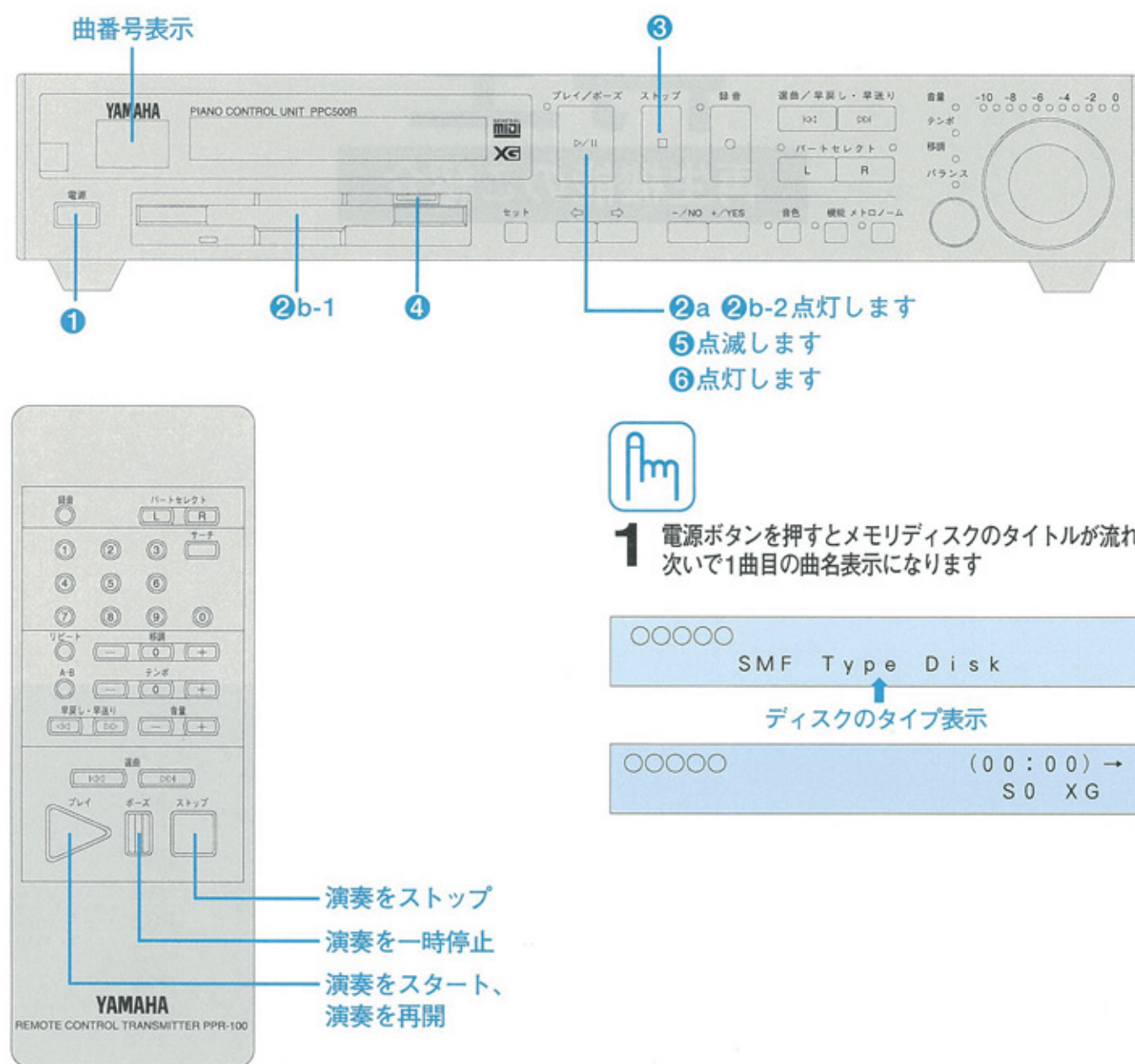
再生

再生機能のご紹介

サイレントアンサンブルピアノは、ご自分で録音した曲や市販ソフトを再生して聴くことができます。CDプレーヤのような操作で、曲を選んだり、音量を調節したりリピートさせられるだけでなく、片手パートずつ再生したり、テンポや調を変更することもできます。片手パートずつ再生できるLR曲、色々な楽器パートとのアンサンブル曲もお楽しみください。

再生の基本的な操作を知りたい	再生のしかた	P10
再生を一時停止する	再生のしかた	P10
聴きたい曲を選ぶ	選曲	P12
	ダイレクト選曲	P32
聴きたい曲を探す	早戻し・早送り	P13
	サウンド早戻し・早送り	P14
聴きたい場所を探す	ダイレクトサーチ	P33
音量を調節したい	音量調節	P15
キーを変えて再生したい	移調調節	P16
テンポを変えて再生したい	テンポ調節	P17
片手パートずつ再生したい	パートキャンセル	P18
ペダル効果なしで再生させたい	ペダルキャンセル	P19
アンサンブル曲を聴きたい	再生	P22
ピアノとアンサンブルパートのバランスをとる	マスターバランス	P23
アンサンブルパートをピアノで聴く	ピアノパートセレクト	P24
アンサンブルパートの音色を表示させる	アンサンブルパート音色表示	P25
内蔵音源とピアノのピッチを合わせたい	マスターチューン	P26
繰り返し演奏する機能	リピート機能	
全曲リピート◆P27	1曲リピート◆P28	ランダムリピート◆P29
A-Bリピート◆P30	リターン&ストップ◆P31	

再生のしかた 演奏を聴いてみましょう(メモリディスクの再生とフロッピーディスクの再生)



- 1 電源ボタンを押すとメモリディスクのタイトルが流れ、次いで1曲目の曲名表示になります



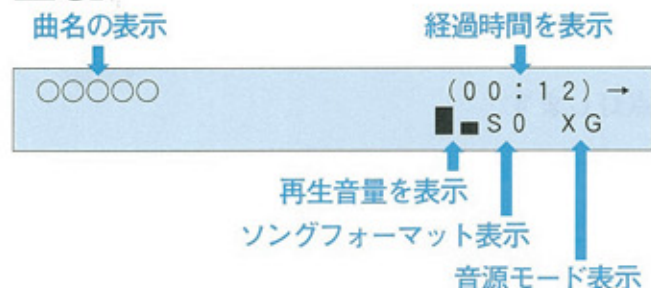
- 表示されている曲番号・曲名の曲が演奏されます。
- 本機は、メモリディスクまたはフロッピーの中の曲が再生できます。フロッピーが入っていない場合、メモリディスク内の曲が再生されます。フロッピーが入っていれば、フロッピー内の曲が再生されます。
- メモリディスクとは、本体に内蔵された、曲を記録している所です (xvi, P60参照)。



- プレイ/ポーズボタンが点滅していたら、一時停止(ポーズ)中です。もう一度プレイ/ポーズボタンを押せば演奏再開。



2a メモリディスク内の曲を再生する場合 プレイ/ポーズボタンを押すと再生スタート



2b-1 フロッピー内の曲を再生する場合 フロッピーを入れるとフロッピーのタイトルが流れ、次いで1曲目の曲名表示になります



2b-2 プレイ/ポーズボタンを押すと再生スタート



3 再生を停止したい時 ストップボタンを押す



4 フロッピーを取り出す時は、 ディスク取り出しボタンを押す (メモリディスクの表示になる)



5 再生を一時停止したい時 再生中に、プレイ/ポーズボタンを押す



6 もう1回プレイ/ポーズボタンを押せば、演奏再開

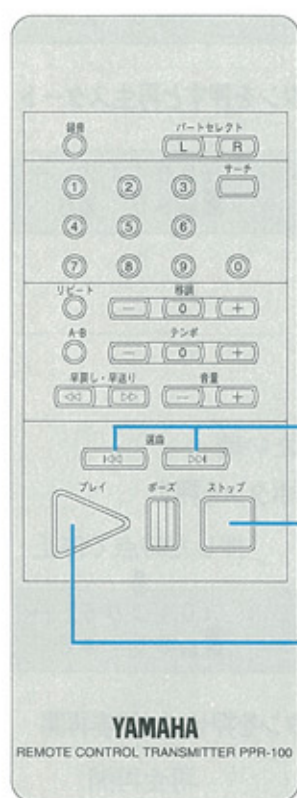
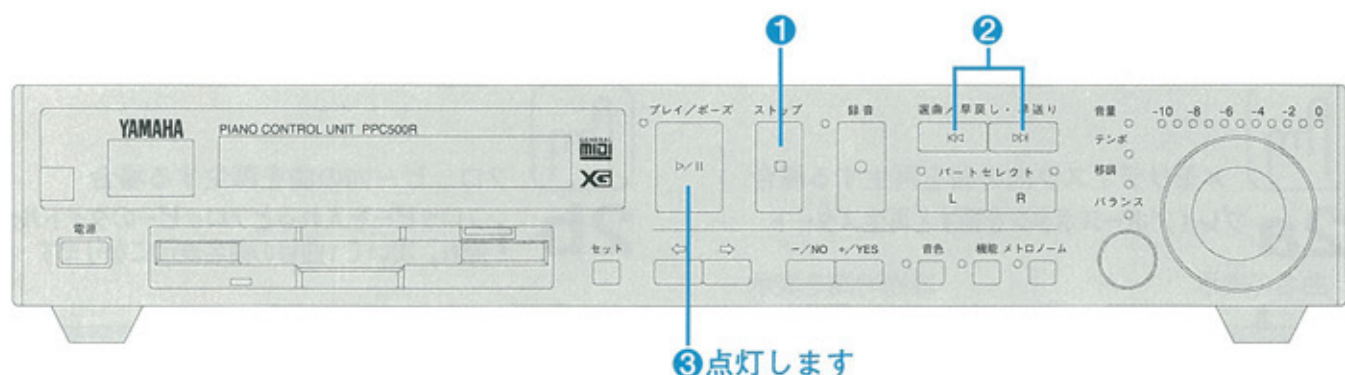


- ピアノ電子音で再生されます(ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたは補助出力端子(AUX OUT)に接続したスピーカーでお聴きになれます。
- 鍵盤を動かさずに再生することもできます(P4参照)。
- ペダルは動きません(ピアノ電子音にダンパーペダル効果は加わりません)。



- 出荷状態では、あらかじめメモリディスクに短いフレーズが入っています。再録音(P40参照)または曲消去(P62参照)で消すことができます。
- フロッピーが入った状態でメモリディスク内の曲を聴くことはできません。フロッピーを取り出してください。
- 選曲/早戻しボタン [PG] を押すと、ディスクタイトルを表示させられます(再生中はこの機能は使えません)。また、ディスクタイトル表示の途中でストップボタンを押して曲名表示にジャンプさせることもできます。
- ディスクタイトルがつけられていない場合は、ディスクのタイプのみ表示されます。
- 「ソングフォーマット」については、xviiやP72参照。

選曲 聴きたい曲を選ぶ



1 もし曲の再生中であれば、ストップボタンを押して曲を停止させる

2 選曲/早戻し・早送りボタンを押して聴きたい曲を選ぶ

3 プレイ/ポーズボタンで演奏スタート

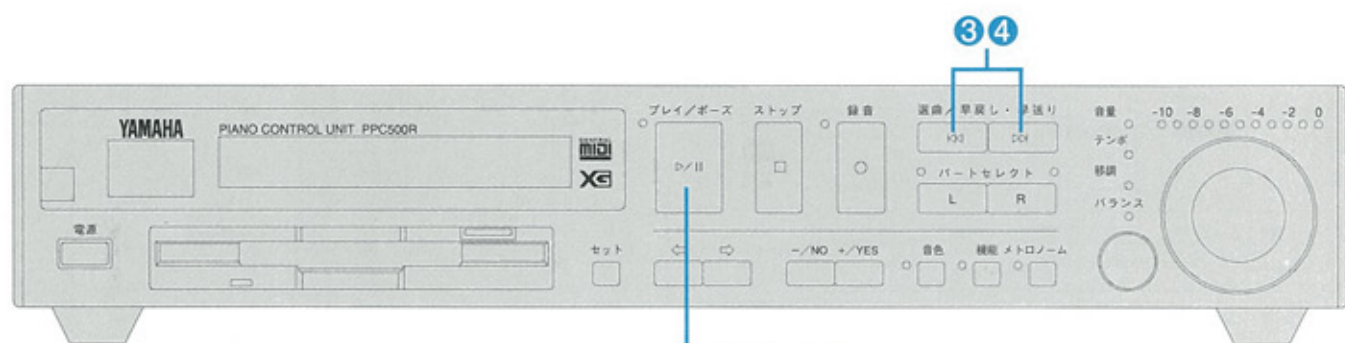


- 聴きたい曲を選びます。停止中に操作します。
- リモコンでは、再生・ポーズ・停止中も選曲できます。
- 曲番号は曲番号表示で、曲名はディスプレイで確認できます。

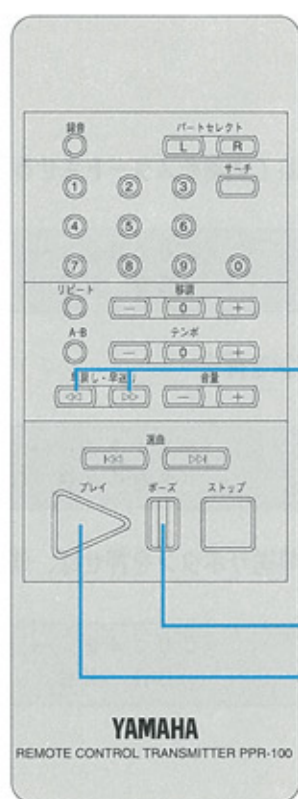


- フロッピーが入っていないければ、メモリディスク内の曲が選択されます。フロッピーが入っていれば、フロッピー内の曲が選択されます。

早戻し・早送り 聴きたいところを探す



- ①点灯します
②点滅します



聴きたいところを選びます
もう1回押せばポーズに戻ります

演奏を一時停止
演奏をスタート



- 1** プレイ/ポーズボタンを押して演奏をスタート

〇〇〇〇〇 (00:02) →
■ S0 XG

- 2** プレイ/ポーズボタンを押して演奏を一時停止させます

〇〇〇〇〇 (00:12) →
S0 XG

- 3** 選曲/早戻し・早送りボタンを押す

〇〇〇〇〇 (00:34) →
S0 XG

- 4** もう一度選んだ向きの選曲/早戻し・早送りボタンを押すと、一時停止に戻る

〇〇〇〇〇 (01:24) →
S0 XG



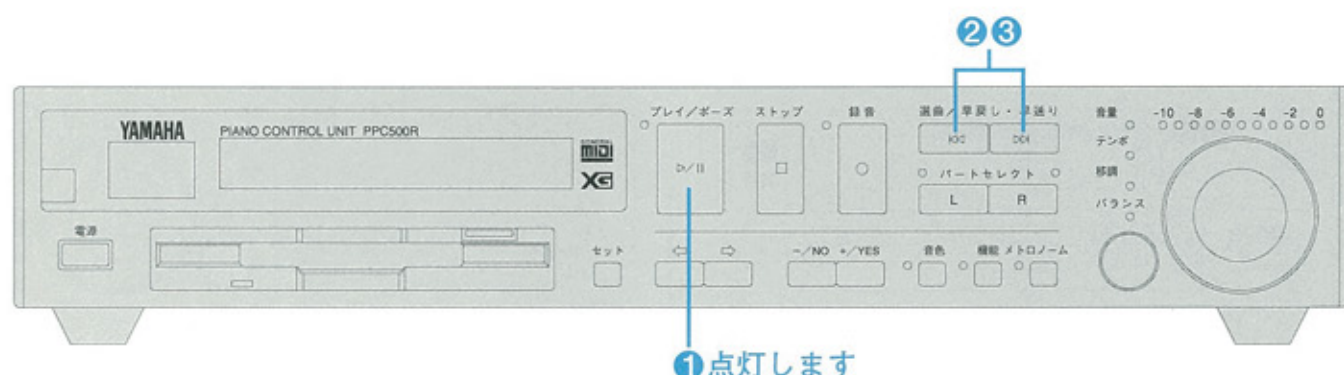
- 一曲の中の聴きたい所を探す機能です。ポーズ中（一時停止）に操作します。
- 曲の経過時間（小節・拍）はディスプレイで確認できます。
- 曲の頭、終わりで自動的にポーズになります。



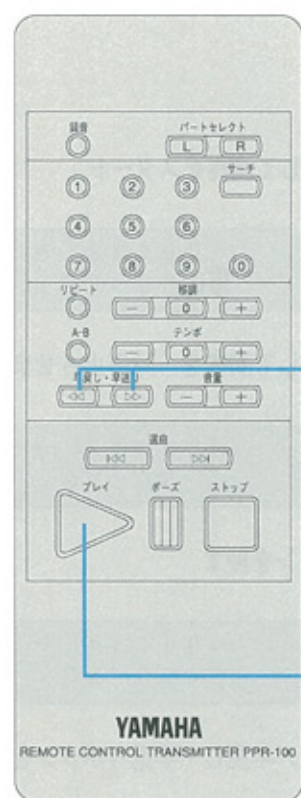
- 早戻し・早送り中にストップボタンを押すと、ポーズ状態になります。プレイ/ポーズボタンを押せば、そこから演奏再開。
- 停止中に早送りボタンを押すと、早送りでの再生が開始します。

サウンド早戻し・早送り

高速で再生して聴きたいところを探す



①点灯します



聴きたいところを選び
ます
もう1回押せばふつうの
再生に戻ります

演奏をスタート



1 プレイ/ポーズボタンを押して演奏をスタートさせる

○○○○○ (00:02) →
S 0 X G

2 選曲/早戻し・早送りボタンを押す

○○○○○ (00:24) →
S 0 X G

3 もう1回、選曲/早戻し・早送りボタンを押せば、演奏再開

○○○○○ (00:42) →
S 0 X G



- 音を出しながら早戻し・早送りさせ、1曲中の聴きたいところを探す機能です。再生中に操作します（弱音量で再生されます）。
- 曲の経過時間（小節・拍）はディスプレイで確認できます。
- 曲の頭、終わりでポーズ（一時停止）になります。

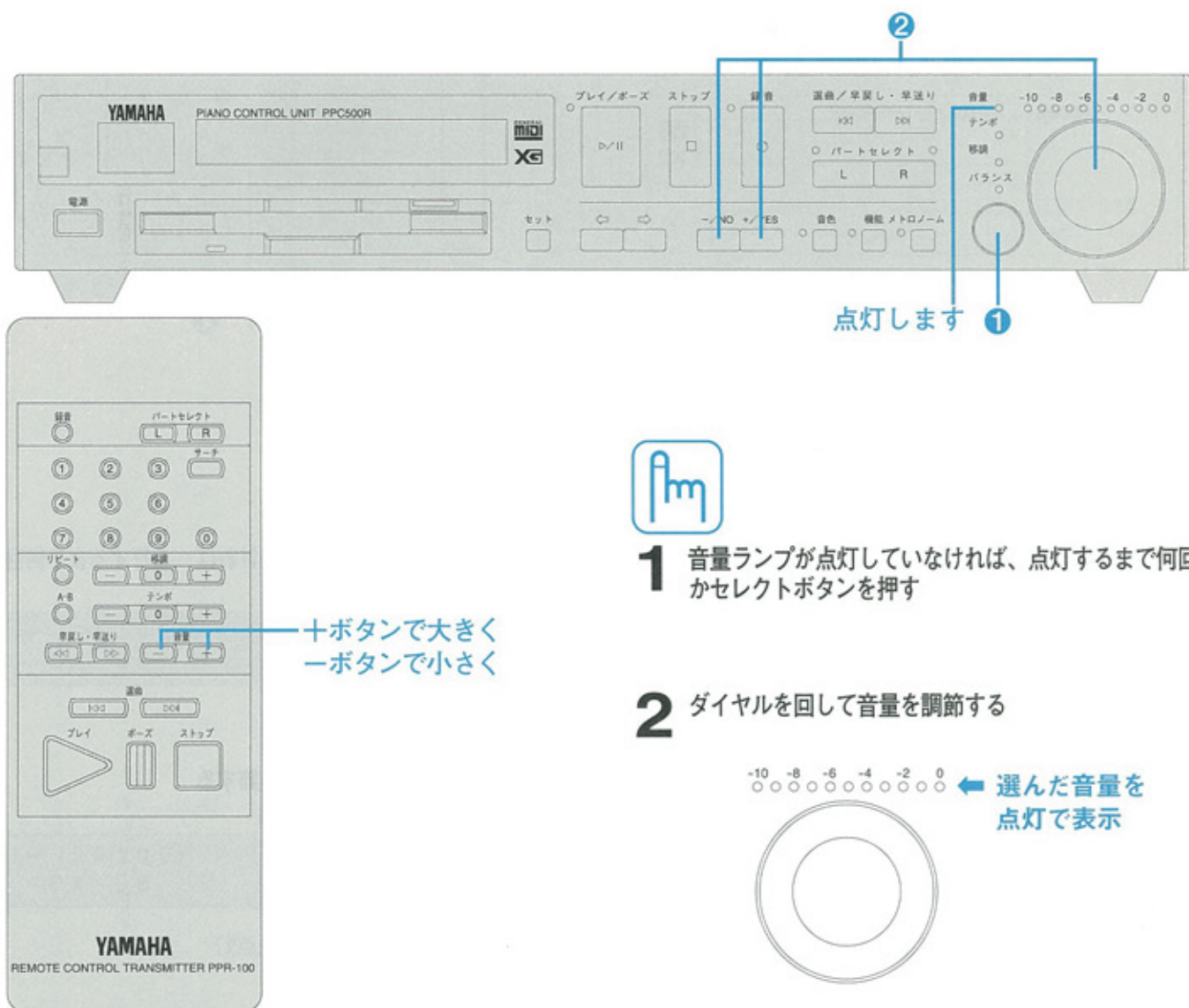


- サウンド早戻し・早送り中にストップボタンを押すと、ポーズ状態になります。プレイ/ポーズボタンを押せば、その時点から演奏再開。



- ピアノ電子音で再生されます（ピアノの音は鳴りません）。ヘッドフォンまたは補助出力端子（AUX OUT）に接続したスピーカーでお聴きになれます。

音量調節



- 再生の音量を調節します。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- 音量調節は-10～0の11段階。オリジナルにいちばん近い音量が0（標準）です。
- 10～-7でミュート機構が働き、一段と弱音での再生を行います。



- セレクトボタンは、音量～バランスの4機能のいずれかを選択するボタンです。押すごとに、音量→テンポ→移調→バランス(→音量……)の順で各機能が呼び出されます。選択されている機能はセレクトボタン上部のランプで確認できます。
- コントロールパネルの- / NO、+ / YESボタンでも音量調節の操作ができます。また、- / NO、+ / YESボタンを同時に押すと、直接オリジナルの音量に戻ります。
- 音量設定は、ダイヤル上部の点灯で確認できます。
- リモコンでは、音量専用ボタンで調節できます。

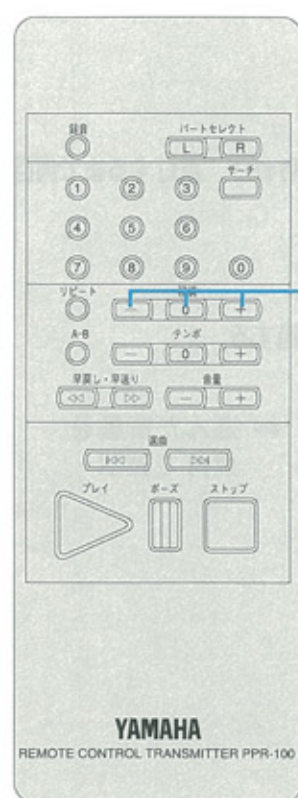
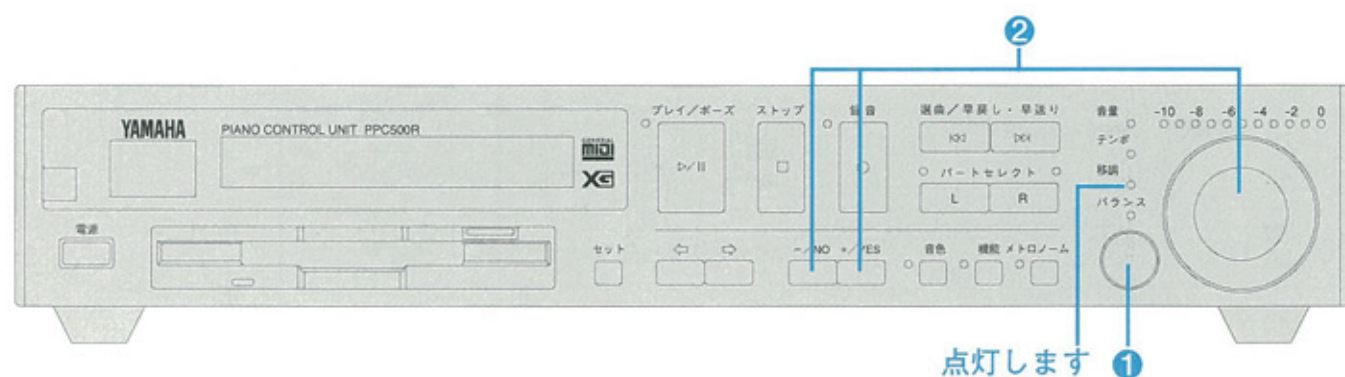


- 音量設定は、電源を切っても記憶しています。
- 楽曲により弱音量で再生したとき、連打などのパッセージで音抜けする場合は、音量を上げてください（本製品は、実際に鍵盤とアクションを動かして再生するためです）。
- 自動演奏を楽しむ環境・お好み・楽曲に合った音量をお選びください。
- 10〜-7のミュートモード再生時は鍵盤の動きが不揃いになることもありますが、支障ありません。再生停止5分後にミュート機構は解除されますが、再生スタートと共にミュート状態となります。尚、一時停止（ポーズ）中のミュートは解除されません。



- ピアノ電子音の再生音量が調節されます(ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたは補助出力端子(AUX OUT)に接続したスピーカーでお聴きになれます。
- ミュート機構は働きません。

移調調節 調を変えて再生する



- 1** 移調ランプが点灯していなければ、点灯するまで何回かセレクトボタンを押す

○○○○○ (00:42) →
イチョウ+00 S0 XG

点滅して出現

- 2** ダイヤルを回して移調を調節する

○○○○○ (00:42) →
イチョウ+02 S0 XG

点滅 (約10秒) →点灯



- 再生時に移調を行います。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- 半音単位で、-2オクターブ～+2オクターブの範囲で調節できます。

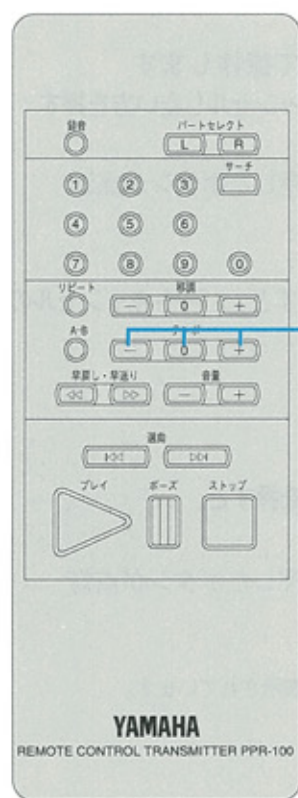
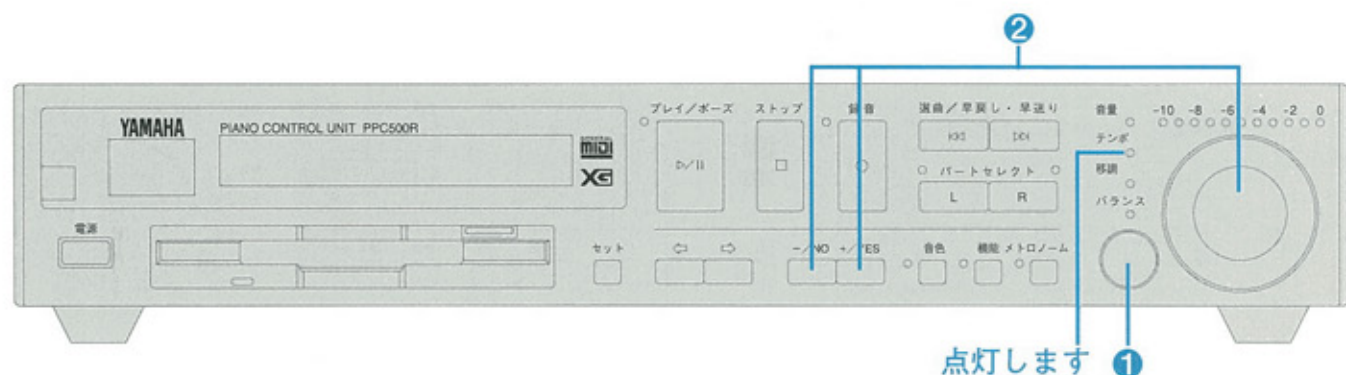


- セレクトボタンは、音量～バランスの4機能のいずれかを選択するボタンです。押すごとに、音量→テンポ→移調→バランス(→音量……)の順で各機能が呼び出されます。選択されている機能はセレクトボタン上部のランプで確認できます。
- コントロールパネルの-/NO、+/YESボタンでも移調調節の操作ができます。また、-/NO、+/YESボタンを同時に押すと、直接オリジナルの調に戻ります。
- リモコンでは、移調専用ボタンで調節できます。また、0ボタンで直接オリジナルの調に戻ります。
- 別の曲を選んで、調節された調で再生されます。
- 電源を切ったりフロッピーを取り出したりすると、オリジナルの調に戻ります。



- ピアノ電子音の再生音が移調されます(ピアノの音は鳴りません)。

テンポ調節 テンポを変えて再生する



- 1** テンポランプが点灯していなければ、点灯するまで何回かセレクトボタンを押す

経過時間を表示

○○○○○ (00:42) → S0 00%

点滅して出現

〈メトロノーム録音の場合〉

経過小節・拍を表示

○○○○○ (012-3) → S0 00%

点滅して出現

- 2** ダイヤルを回してテンポを調節する

○○○○○ (00:44) → S0 +12%

点滅 (約10秒) → 点灯

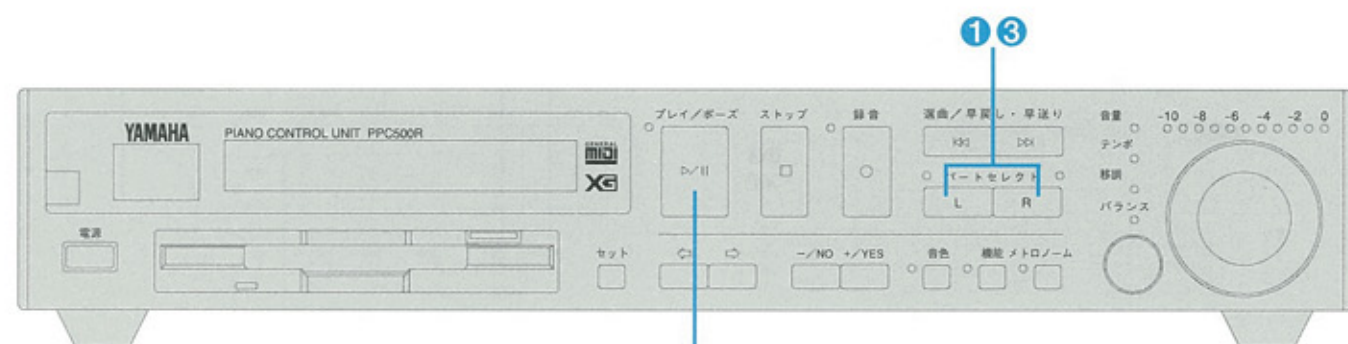


- テンポを調節します。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- 1%きざみで、-50%～+20%の範囲で調節できます。

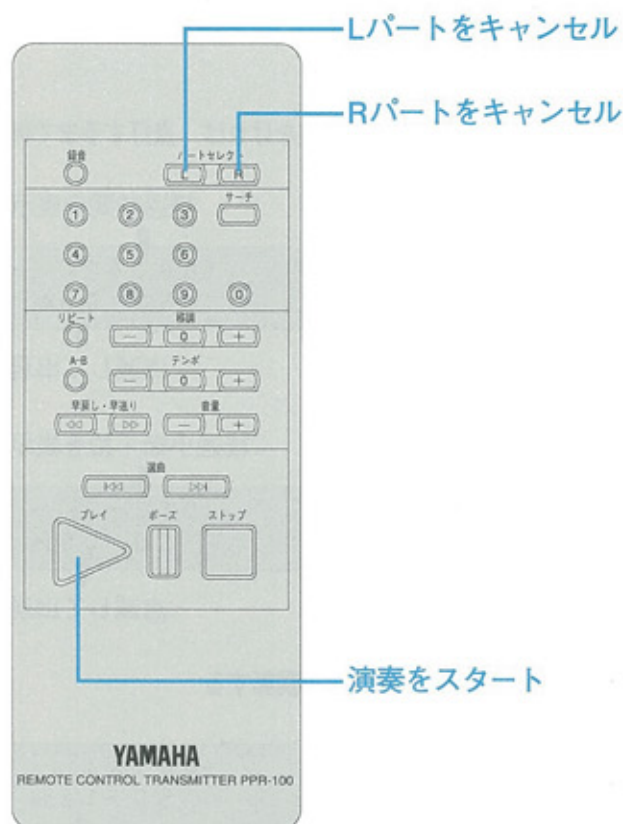


- セレクトボタンは、音量～バランスの4機能のいずれかを選択するボタンです。押すごとに、音量→テンポ→移調→バランス(→音量……)の順で各機能が呼び出されます。選択されている機能はセレクトボタン上部のランプで確認できます。
- コントロールパネルの- / NO、+ / YESボタンでもテンポ調節の操作ができます。また、- / NO、+ / YESボタンを同時に押すと、直接オリジナルのテンポに戻ります。
- リモコンでは、テンポ専用ボタンで調節できます。また、0ボタンで直接オリジナルのテンポに戻ります。
- リモコンでは、専用ボタンで直接調節できます。
- 別の曲を選んでも、調節されたテンポで再生されます。
- 電源を切ったりフロッピーを取り出したりとすると、オリジナルのテンポに戻ります。
- 曲のテンポを変更して記録したい場合は、P54「録音テンポ変更」参照。

パートキャンセル LR曲を片手パートずつ再生する



②点灯します



LR対応曲を選曲して操作します

1 パートセレクトボタンのキャンセルしたい方を押す

○ パートセレクト ○ ← 押したボタンが点滅



2 プレイ/ポーズボタンを押すと、パートキャンセルの状態での再生スタート

3 もう1回①で押したボタンを押すと、パートキャンセル解除

○ パートセレクト ○ ← 押したボタンが点灯



※この間、ディスプレイには曲名が表示されています。



- LR対応ソフト(P8参照)やLR録音(P44, P55参照)した曲で、聴きたいパートだけ再生させることができる機能です。
- 片手パートだけの再生や、連弾曲などをパートごとに再生することができます。通常、Lは低音側・左手パート、Rは高音側・右手パートです。
- 再生・ポーズ・停止中とも操作できます。



- LR対応曲を選ぶと、パートセレクトボタンが2つとも緑に点灯します。
- 点灯しているパートを再生、点滅しているパートをキャンセルします。
- パートキャンセルと解除は、パートセレクトボタンを押すごとに切り換わります。
- 電源を切ったり、ディスクを取り出したりすると、パートキャンセルの設定は解除されます。



- もともと演奏が入っていないパートのランプは点灯しません。

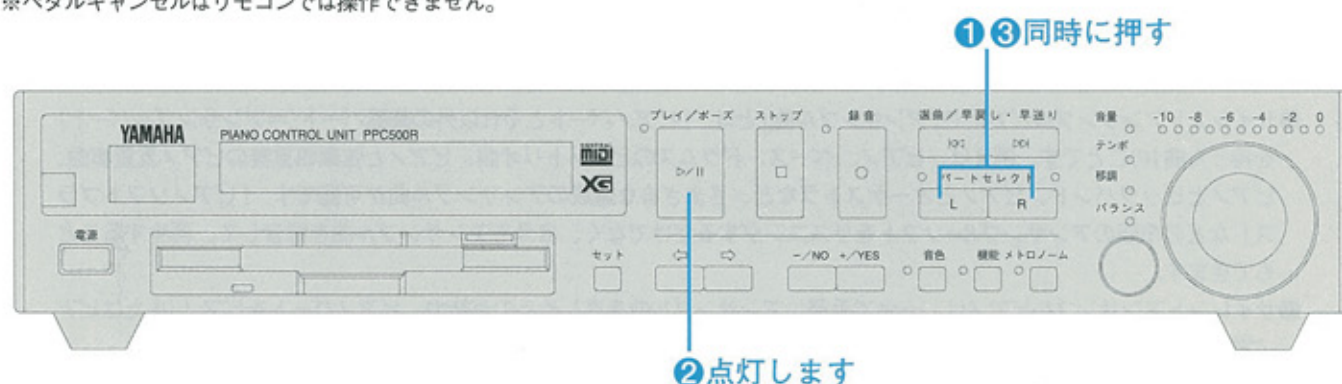


- ピアノ電子音の、指定したパートの再生がキャンセルされます。この状態で、鍵盤で演奏を行うと、ピアノ電子音が発音します。

ペダルキャンセル

ペダル効果なしで再生する

※ペダルキャンセルはリモコンでは操作できません。



1 パートセレクトボタンを2つ同時に押す

○○○○○ (00:00) →
P D o f f S 0 + 1 2 %

点滅 (約10秒) → 点灯

2 プレイ/ポーズボタンを押すと、
ペダルキャンセル再生スタート

○○○○○ (00:02) →
P D o f f S 0 + 1 2 %

3 もう1回①の操作をすると、ペダルキャンセル解除

○○○○○ (00:24)
P D o n S 0 + 1 2 %



- ペダル効果をキャンセルして再生させます。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- LR対応曲で片方のパートのみ再生し、もう片方のパートを演奏しつつ、ペダリングを行う場合などに使います。



- ペダル効果をキャンセルして、ピアノ電子音の再生を行います。

アンサンブル曲とは…

- サイレントアンサンブルピアノで「アンサンブル曲」とは、『ピアノパートとそれ以外の楽器パート(=アンサンブルパート)を持った曲』のことです。例えば、ピアノ、ベース、ドラムスのピアノトリオ曲、ピアノと弦楽四重奏のピアノ五重奏曲、ピアノとビッグバンド、ピアノとオーケストラなど、さまざまな編成のアンサンブル曲が可能です。「ピアノソフトプラス」などの市販のアンサンブル・ソフトをリスニングするだけでなく、自分でアンサンブル曲を録音して、再生することもできます。
- サイレントアンサンブルピアノは、一台で手軽にアンサンブル曲を楽しめるのが魅力。ピアノパートをピアノ(またはピアノ電子音源)が担当し、アンサンブルパートを内蔵電子音源が担当します。

- ピアノ用のパートはピアノ(またはピアノ電子音源)が、アンサンブルパートは内蔵電子音源が発音

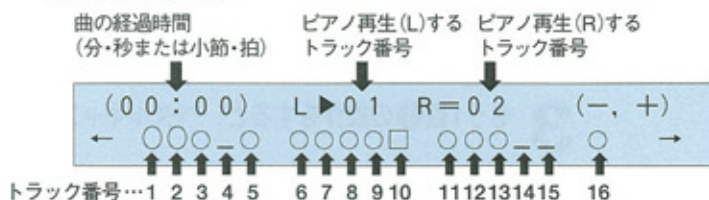


+



- アンサンブル曲には、こうしたさまざまな楽器パートを記録しておく場所(トラックと呼びます)が、16トラックあります。16段の楽譜のように考えることもできます。

●トラック表示画面



- ……ピアノ再生パート
- ……アンサンブルパート
- ……リズムパート(通常、トラック10)
- ……演奏が入っていない

※録音時には、録音トラックが●や■で表示されます。

●音色表示画面



- サイレントアンサンブルピアノには、アンサンブル曲を楽しむための便利な機能が用意されています。ぜひこれらの機能も使いこなしてください。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| ◆ピアノパートセレクト | アンサンブルパートをピアノで再生する |
| ◆マスターバランス | ピアノパートとアンサンブルパートの音量バランスを変更する |
| ◆アンサンブルパート音色表示 | 再生時にパートごとの音色や音量を表示・変更する |
| ◆マスターチューン | 内蔵電子音源をピアノに合わせてチューニングする |
| ◆ピアノパートセット | ピアノで再生するトラックを変更する |

[*参照ページ]

- | | | |
|--------------------|-----------------|-------------------|
| ◆アンサンブル曲の再生…P22 | ◆マスターバランス…P23 | ◆ピアノパートセレクト…P24 |
| ◆アンサンブルパート音色表示…P25 | ◆マスターチューン…P26 | ◆アンサンブルパートの録音…P48 |
| ◆ピアノパートセット…P49 | ◆リズムトラックの録音…P50 | |

トラック、パート、チャンネル

- トラック、パート、チャンネル……。本書のアンサンブル曲の説明の中に、似たような言葉が出てきます。サイレントアンサンブルピアノ単独の場合はさほど意識される必要はありませんが、パソコンや他のMIDI機器と一緒にご使用になる方のために、ここで整理しておきます。
- <トラック>は、陸上競技の走路のように帯状のものを指す言葉で、転じて「カセットテープはステレオで往復だから4トラック」と、録音テープの記録部分に使われるようになりました。サイレントアンサンブルピアノではこれが16トラックあるとお考えください。1回の録音で、1つのトラックを選び、そこに1パート記録します（LRスプリット録音を除く）。
- その<パート>とは、一つの楽器（または弦楽器のような一つのセクション）の演奏のことです。サイレントアンサンブルピアノには特にピアノ用のパートがあり、LR録音では、LパートとRパートに分けて記録し、ピアノ本体またはピアノ電子音源を演奏させるために使われます。ピアノ以外のパートはアンサンブルパートと呼び、内蔵電子音源を発音させるのに使います。パートはいわば用途（楽器演奏）を表す言葉です。
- <トラック>に記録された音符などのデータを<パート>に結び付けるのが<チャンネル>の役目です。MIDIの世界では、バイオリンに使うドなのか、フルートに使うドなのか区別できるよう、録音時に音符の1つ1つに目印となる番号が付けられます。MIDIには16のチャンネルがあります。
- サイレントアンサンブルピアノでは、これらの関係を分かりやすくするため、トラック1はチャンネル1、トラック2はチャンネル2……と、トラック番号とチャンネル番号がイコールになっており、トラック1と2はピアノのLパート、Rパート、トラック3～9とトラック11～16はアンサンブルパート用、トラック10はリズムパート用です（E-SEQ曲の場合はトラック3はハーフペダル用）。
- 内蔵音源にも16のトラックに対応した16種類の音色が同時に発音可能です（ふだんはピアノパートはピアノまたはピアノ電子音源が発音します）。再生が始まると、各パートは同じチャンネル番号の音色番号と音符データを受けて、音色を選び演奏を開始します。

SMF曲			
トラック	パート	チャンネル	発音
1	ピアノLパート	1	ピアノ (ピアノ電子音源)
2	ピアノRパート	2	
3～9	アンサンブルパート	3～9	内蔵音源
10	リズムパート	10	
11～16	アンサンブルパート	11～16	

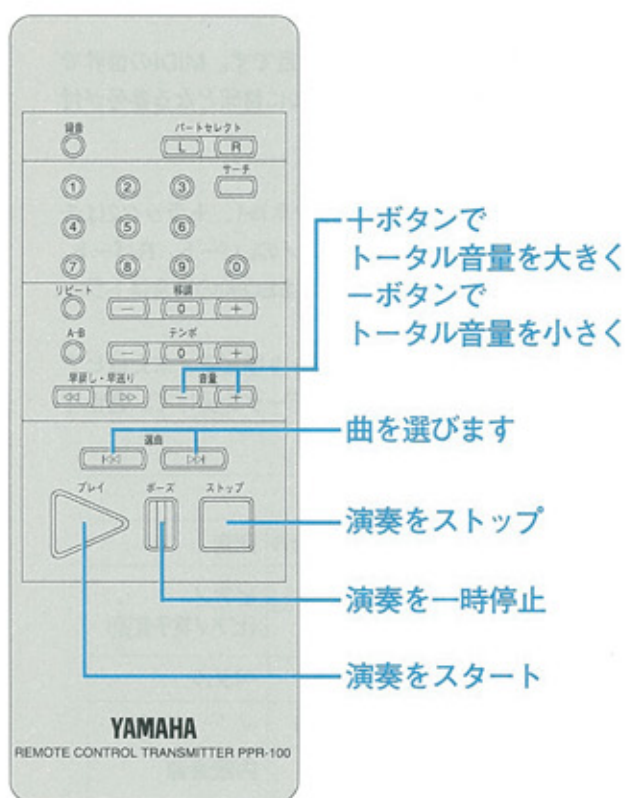
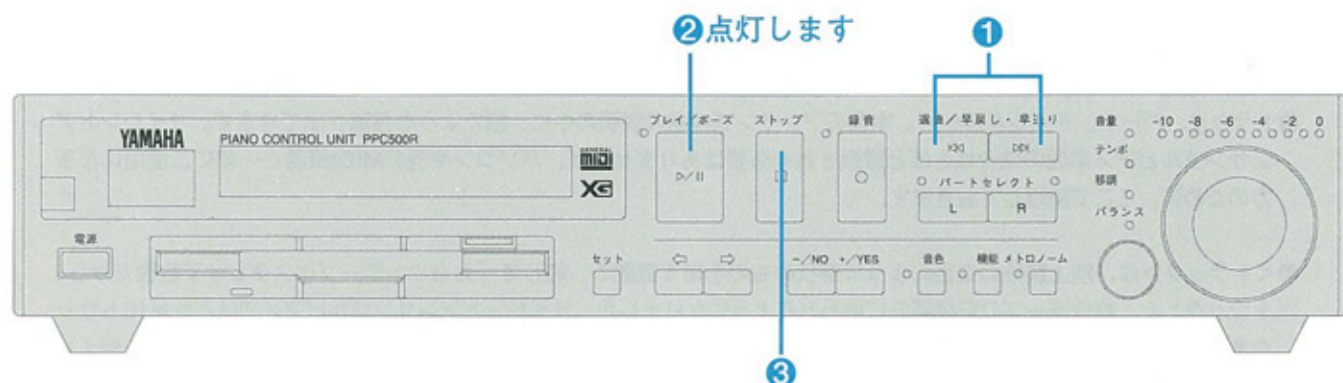
*初期値は表のようにピアノパートがトラック1と2になっていますが（E-SEQ曲と同じ）、変更も可能です。また、一般的にスタンダードMIDIファイルのピアノパートがトラック1と2であるということもありません。

E-SEQ曲			
トラック	パート	チャンネル	発音
1	ピアノLパート	1	ピアノ (ピアノ電子音源)
2	ピアノRパート	2	
3	ハーフペダル	3	ペダル
4～9	アンサンブルパート	4～9	内蔵音源
10	リズムパート	10	
11～16	アンサンブルパート	11～16	

[*参照ページ]

- ◆ピアノパートセレクト……P24
- ◆ピアノパートセット……P49
- ◆MIDIセットアップ機能……P74～P78

再生 アンサンブル曲を再生しましょう



アンサンブル曲の再生

1 アンサンブル曲を選ぶ



2 プレイ/ポーズボタンを押せば、再生スタート



3 ストップボタンを押せば停止



●アンサンブル曲とは、ピアノ以外のアンサンブルパートをもった曲のこと。アンサンブル曲の再生では、ピアノパートをピアノが、ピアノ以外のアンサンブルパートを内蔵音源が再生します。

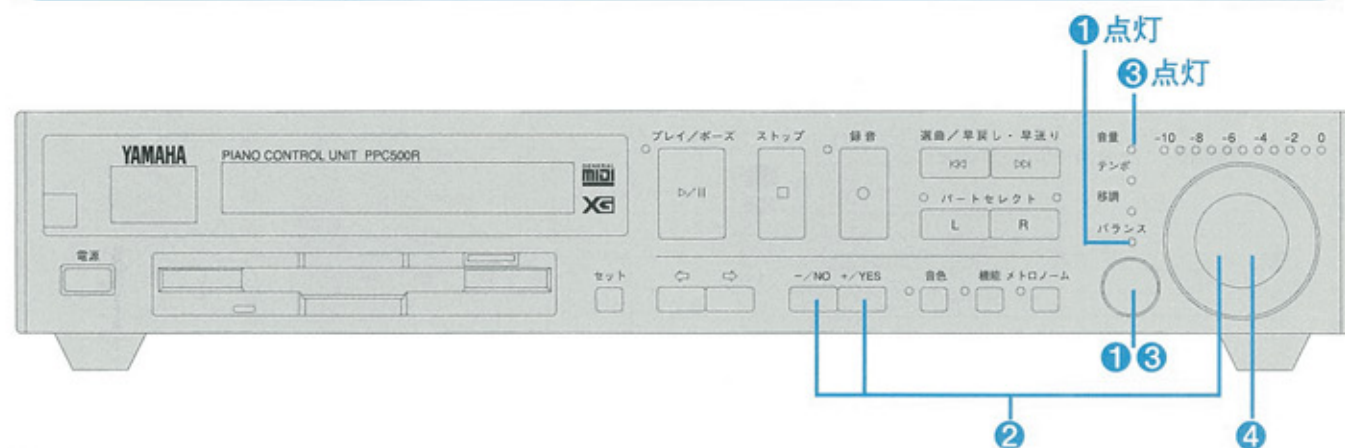


●再生に関する操作は、ふつうの曲と全く同じ。一時停止、選曲、早送り・戻し、音量・移調・テンポの調節なども行えます。
●アンサンブル曲の録音方法はP48参照。



●リズムパートはリズム音色を正しく再生するため、移調の設定にかかわらず移調されません。その他の再生時の移調機能は、音源の演奏にも有効です。

マスターバランス ピアノパートとアンサンブルパートの音量バランスを変更する



再生中に音量を確認しながら操作します

- 1 バランスランプが点灯するまで何回かセレクトボタンを押す



内蔵音源の音量

- 2 ピアノとバランスがとれるよう、内蔵音源の音量をダイヤル、-/NO、+/YESボタンで調節する



以上でマスターバランスが新しい設定に変更されました。トータルの音量を調節したい場合は、引き続き③④の操作を行ってください。

- 3 セレクトボタンを1回押して、音量ランプを点灯させる



- 4 ダイヤルでトータルの音量を調節する
②で設定したバランスを保ってピアノパートとアンサンブルパートの音量が一緒に変化する



- 音量調節を行うと、ピアノの音量とアンサンブルパートの音量が一緒に変化しますが、マスターバランスは、アンサンブル曲の再生中に、ピアノの音量とアンサンブルパートの音量のバランスをとる機能です(停止中でも設定はできます)。
- 内蔵音源の音量は、10(最小)~100(初期値)~127(最大)、OFFの範囲で調節できます。OFFは、ダイヤル操作で内蔵音源のアンサンブルパートの音量を変更したくない場合に選びます。



- /NO、+/YESボタンを同時に押すと初期値(100)になります。

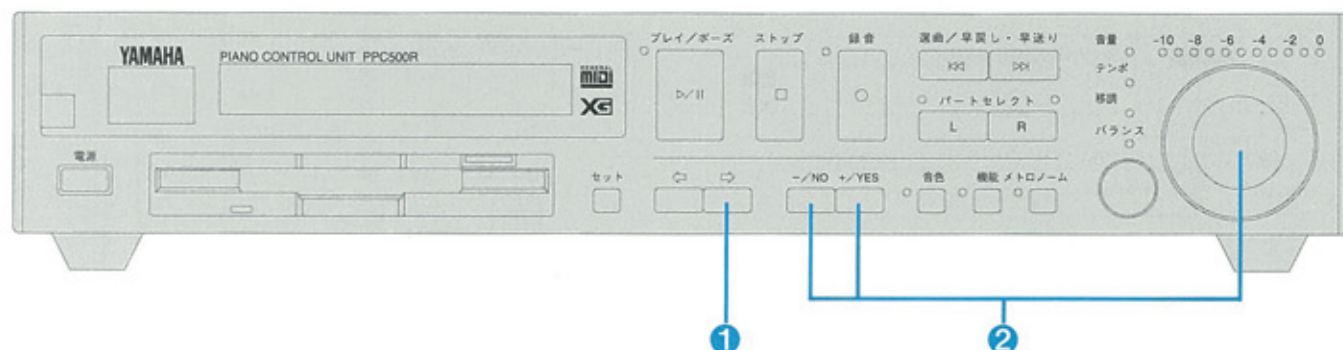


- マスターバランスは、リセット機能を実行するまで記憶されています(P80参照)。
- マスターバランスの操作はリモコンでは行えません。

ピアノパートセレクト

アンサンブルパートをピアノで再生する

※コントロールパネルで操作します。



- 1** 曲名表示画面で、カーソルボタン \leftarrow を1回押し、トラック表示画面を呼び出す

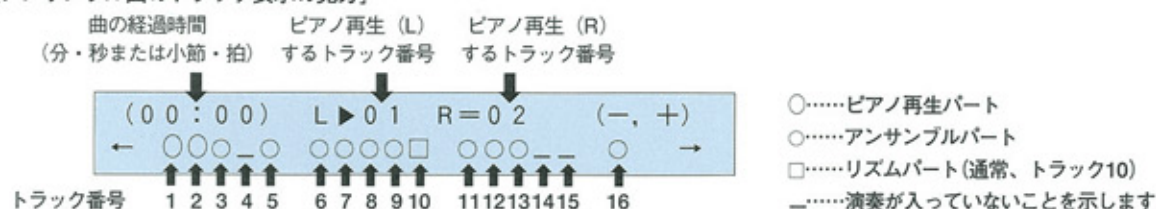


- 2** ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンでピアノで再生したいトラックを選ぶ



- アンサンブル曲は、16のパートからできており、パートのことを「トラック」と呼びます。通常、トラック1と2はピアノ用(変更する場合は、P49「ピアノパートセット」で行います)で、特別にLパート、Rパートと呼んでいます。そして3～16の14トラックがそれ以外のアンサンブルパートの記録に用いられます(トラック10は通常リズムパートに使われます)。

[アンサンブル曲のトラック表示の見方]



- E-SEQフォーマットでハーフペダル対応曲の場合、トラック3には「X」が表示されます。
●ピアノパートセレクトは、アンサンブルパートのトラックを一時的にピアノで再生する機能です。



- Rパートは、カーソル \leftarrow で「R▶02」と表示させ、②と同様に設定します。



- ピアノパートやL、Rに割り当てたアンサンブルパートはピアノ電子音で再生されます(ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたは補助出力端子(AUX OUT)に接続されたスピーカーでお聴きになれます。

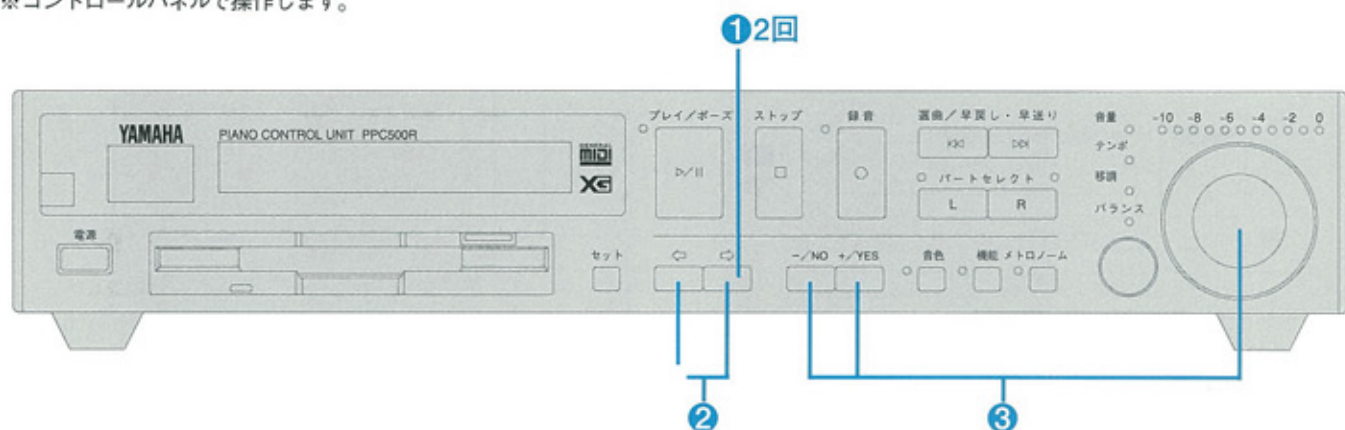


- 再生時にトラック画面を表示させておくと、内蔵音源で演奏中のトラックが点滅します。音量・移調・テンポ・リピート機能は、前画面に戻して操作します。
●別の曲を選ぶと、ピアノパートセレクトの設定は解除されます。

アンサンブルパート音色表示

アンサンブルパートの音色を表示する

※コントロールパネルで操作します。



- 曲名表示画面で、カーソルボタン⇄を2回押し、音色設定画面を呼び出す



- カーソルボタンで設定する項目 (トラック、音色、音量) を選ぶ



- ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで、トラック、音色、音量を設定



- アンサンブルパート音色表示で、各アンサンブルパート(トラック)ごとの音色や音量を一時的に変更することができます。トラックを選び、音色・音量を設定します。



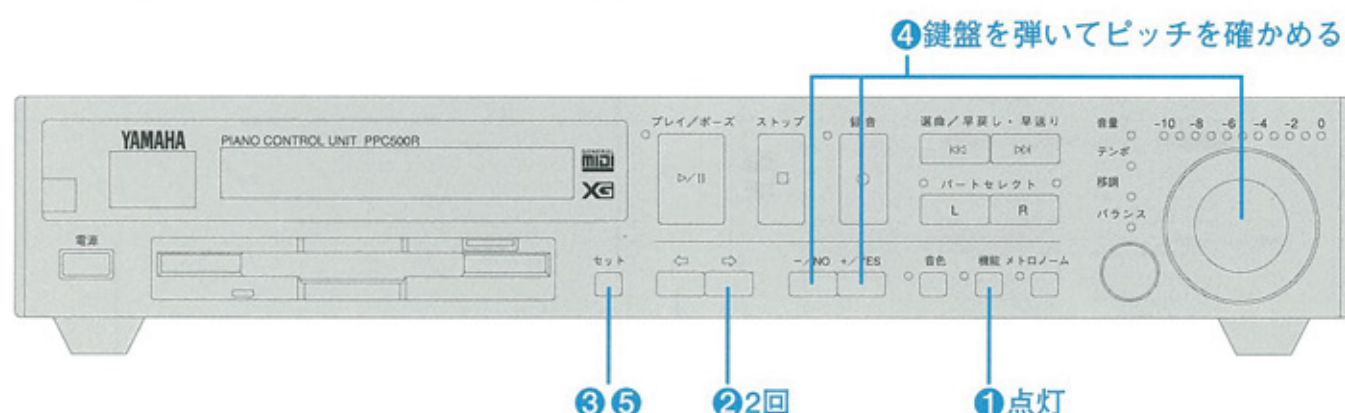
- 鍵盤で演奏する場合、内蔵電子音源は128音色+9ドラムキット(ディスプレイの音色名は8文字以内に省略して表示しています)。音色番号・音色名一覧表はP84参照。



- 一時的でなく完全に別の音色・音量に変更してしまう場合は、P48「アンサンブル録音」で、音色番号・音量のみ再録音します。
- MIDIデータにより演奏する場合の内蔵電子音源の音色数は、676音色+21ドラムキットです。

マスターチューン

内蔵電子音源をピアノに合わせてチューニングする



1 機能ボタンを押す

▶ ディスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

2 カーソルボタンを2回押して、「▶ M-Tune」と表示させる

* ディスク *MIDI Setup →
▶ M-Tune *サイレント

3 セットボタンを押してマスターチューン機能呼び出す

==TG Master Tune==
> 000 セント (ー, +, セット)

4 内蔵電子音源のピッチ（音の高さ）がピアノのピッチに一致するよう、鍵盤を弾いて確かめながらダイヤル、ー/NO、+/YESボタンで調整する

==TG Master Tune==
> +003 セント (ー, +, セット)

5 チューニングが合ったらセットボタンを押す

※元の画面に戻ります。



●電子音源のチューニングは、一般にA3=440Hzですが、本機能を使えば、ピアノが440Hz以外に調律されていても、内蔵電子音源のチューニングをピアノのピッチに一致させることができます。アンサンブル曲の再生で必要があれば行ってください。

●ピッチコントロール機能の可変範囲

+001～+050セント	ピッチを上げる
0セント	A3=440Hz
-050～-001セント	ピッチを下げる

※1セントは半音の100分の1の音程です。



●鍵盤を弾いて、ヘッドホンまたはスピーカーで電子音源のピッチを確かめながら、チューニングします。

●④で、ー/NO、+/YESボタンを同時に押すと000 (440Hz)に戻ります。

●この設定は電源を切っても記憶されています。



●ピッチコントロールを行うと、内蔵電子音源だけでなくピアノ電子音も同一にチューニングされ、ピアノとピアノ電子音と外部電子音源を一斉にチューニングすることになります。

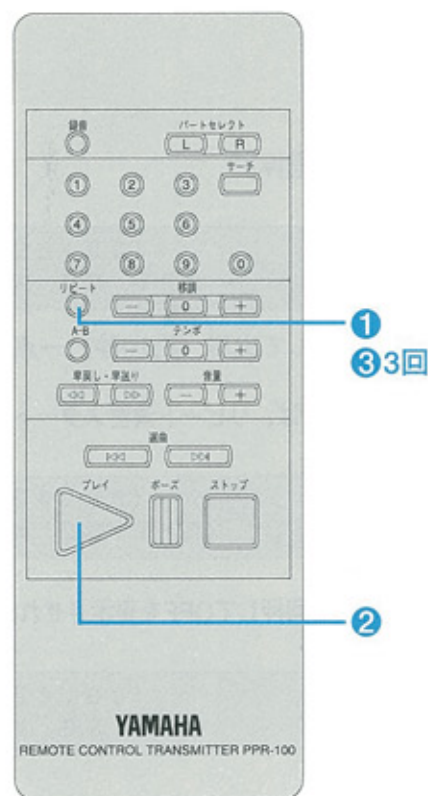


●リセット機能 (P80参照) を使って工場出荷時の状態 (000セント) に戻すこともできます。

全曲リピート 全曲を繰り返し演奏する

※リピート機能はリモコンでのみ操作できます。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 リピートボタンを1回押す



点滅して出現 (約10秒) →点灯

2 プレイボタンを押せば、リピート演奏スタート



3 リピートボタンを3回押してOFFを表示させれば、リピート解除



- メモリディスクまたはフロッピーの全曲を1曲目から順に繰り返し演奏させる機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作可能。
- リピート機能には、全曲リピート(ALL)、1曲リピート(RPT)、ランダムリピート(RND)、A-Bリピート(A-B)、リターン&ストップ(A)があります。



- リピートボタンを押すごとに、ALL→RPT→RND→OFF(解除)が設定できます。
- 電源を切ったりフロッピーを取り出すと、ふつうの再生に戻ります。

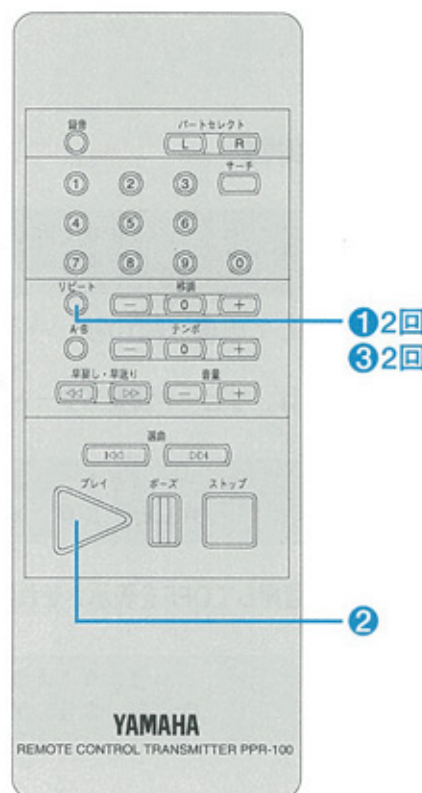


- 複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。

1曲リピート 1曲を繰り返し演奏する

※リピート機能はリモコンでのみ操作できます。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 リピートボタンを2回押す



2 プレイボタンを押せば、リピート演奏スタート



3 リピートボタンを2回押してOFFを表示させれば、リピートを解除



●1曲を繰り返し演奏させる機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作可能。



- 繰り返し演奏する曲を、あらかじめ選曲(P12参照)してから操作します。
- リピートボタンを押すごとに、ALL→RPT→RND→OFF(解除)が設定できます。
- 電源を切ったりフロッピーを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



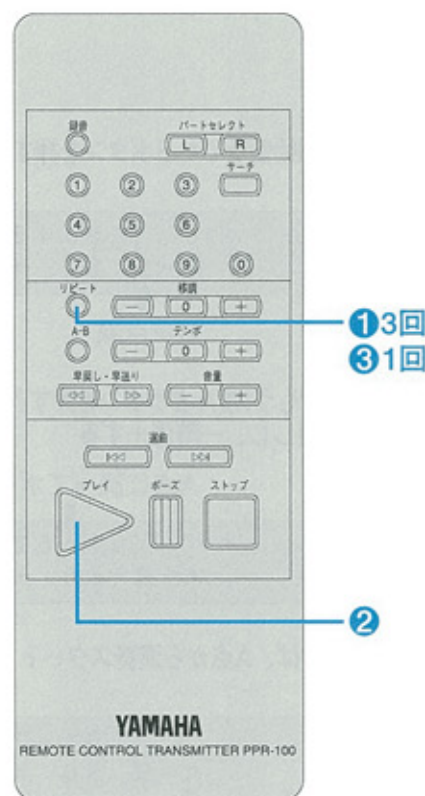
●複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。

ランダムリピート

全曲をランダムな曲順で演奏する

※リピート機能はリモコンでのみ操作できます。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 リピートボタンを3回押す



点滅して出現 (約10秒) →点灯

2 プレイボタンを押せば、リピート演奏スタート



3 リピートボタンを1回押してOFFを表示させれば、リピートを解除



●メモリディスクまたはフロッピーに入った全曲をランダムな曲順で演奏させる機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作可能。



●リピートボタンを押すごとに、ALL→RPT→RND→OFF (解除) が設定できます。

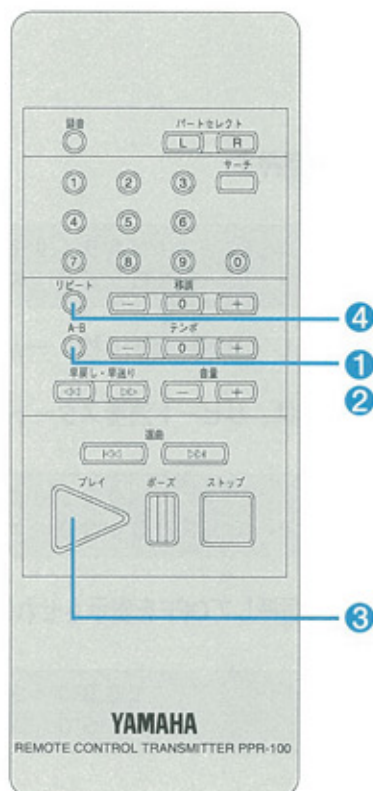
●電源を切ったりフロッピーを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



●複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。

A-Bリピート 曲中の2点を指定し、その間を繰り返し演奏させる

※リピート機能はリモコンでのみ操作できます。



1 再生中にリピート開始個所でA-Bボタンを押す



2 リピート終了個所でもう1度A-Bボタンを押すとリピート開始個所まで早戻しし、一時停止する



3 プレイボタンを押せば、A点から演奏スタート



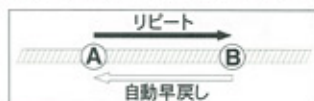
※B点まで再生されると再びA点まで早戻しされ、繰り返しプレイボタンで演奏をスタートできます。

4 リピートボタンを押してOFFを表示させれば、リピートを解除



- 1曲中の2点(A点・B点)を指定し、A-B間を繰り返し演奏させる機能です。
- 曲を再生させておき、A点、B点を指定します。B点を指定すると、自動的にA点に早戻しして一時停止します。

[A-Bリピート]



B点を指定すると自動的にA点まで戻って一時停止。プレイ/ポーズボタンを押すと再生スタート。



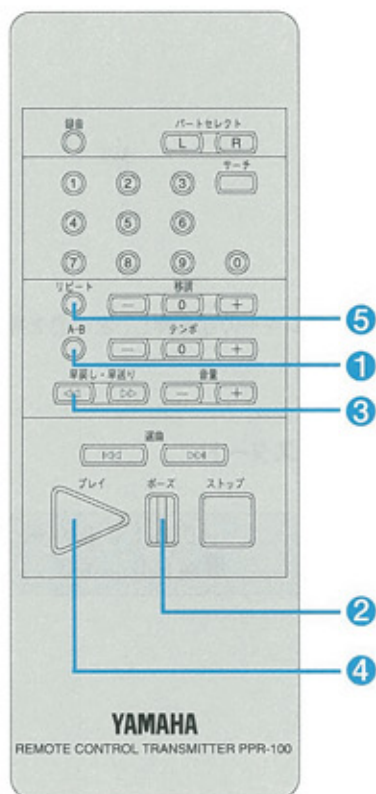
- ④でリピートを解除してもA点・B点は記憶されています。再度A-Bボタンを押すと、ディスプレイの「OFF」が「A-B」に変わり、A-Bリピートが行えます。
- 記憶されているA点・B点を変更したりクリアしたい場合は、「A-B」が表示されている状態で、A-Bボタンを押します。
- 電源を切ったりフロッピーを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。



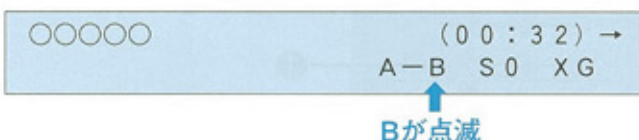
- 複数のリピート機能を組み合わせて使用することはできません。

リターン&ストップ 繰り返し早戻ししたい、曲中の1点を記憶させる

※リピート機能はリモコンでのみ操作できます。



1 再生中に繰り返し開始個所でA-Bボタンを押す



2 ポーズボタンを押して、一時停止させる



3 早戻しボタンを押すと、①で設定した個所に戻って、一時停止



4 プレイボタンを押せば、A点から演奏スタート



5 リピートボタンを押してOFFを表示させれば、リピートを解除



※5でリピート演奏を解除し、ふたたびリターン&ストップを使う時は、リピートボタンを押してディスプレイにA-B (Bは点滅) と表示させます。



●繰り返し開始のA点のみ指定して再生し、好きな個所からA点に早戻しして一時停止させる機能です。

[リターン&ストップ]



A点のみ指定し、早戻しボタンを押すと、A点に戻って一時停止します。プレイボタンを押すと再生スタート。



●早戻しボタンは、押したらすぐに離します。

●⑤でリピートを解除してもA点は記憶されています。再度A-Bボタンを押すと、ディスプレイの「OFF」が「A-B」に変わり、リターン&ストップが行えます。

●記憶されているA点を変更したりクリアしたい場合は、③の一時停止状態で、A-Bボタンを押します。

●電源を切ったりフロッピーを取り出したりすると、ふつうの再生に戻ります。

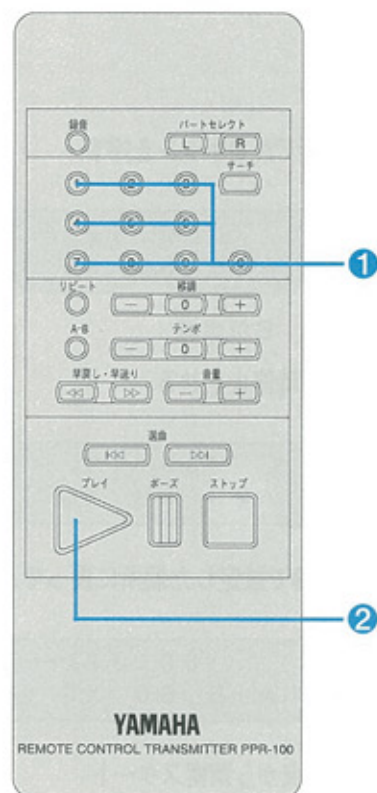


●②のポーズボタンを省略して早戻しボタンを押すと、サウンド早戻しでA点に戻ります。

●2曲以上にまたがって使用することはできません。

ダイレクト選曲 リモコンで聴きたい曲をサッと選曲

※サーチ機能はリモコンでのみ操作できます。



1 テンキーで曲番号を押す

12

※例えば12曲目を聴きたい時は、テンキーの①を押し、次に②を押します。

2 プレイボタンを押せば演奏スタート



●リモコンのテンキーで曲番号を直接指定して、聴きたい曲を再生できます。再生・ポーズ・停止・録音待機中とも選曲可能。



- 再生中に操作すると、曲番号が点滅後選曲した曲が演奏スタート。②の操作は必要ありません。
- ポーズ・停止中に操作すると、選曲された曲の頭で停止します。プレイボタンを押して演奏をスタートさせてください。
- 曲番号が一桁の場合は「01」または「1」と押します。

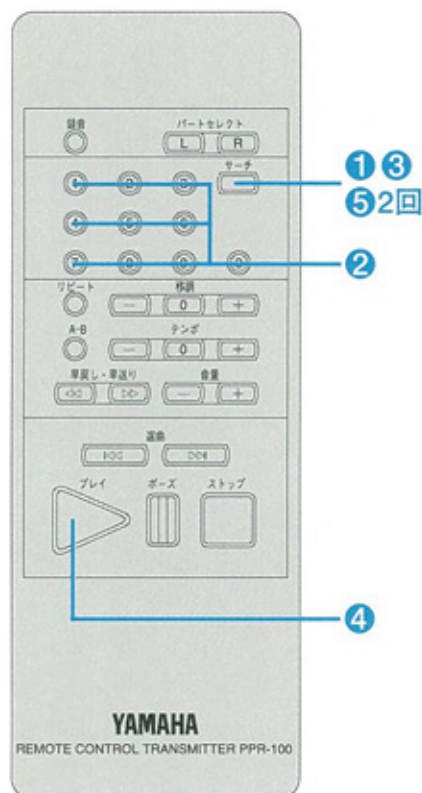


●記録されている曲数より大きい曲番号を指定すると、最後の曲が選曲されます。例えば、10番までの場合に11番以降を指定すると10番が選ばれます。

ダイレクトサーチ

リモコンで聴きたいところを頭出し

※サーチ機能はリモコンでのみ操作できます。



再生中、またはポーズ・停止中に操作します

1 サーチボタンを押す



2 テンキーで頭出しするところの経過時間を入力します



《メトロノーム録音の場合》



3 もう1回サーチボタンを押せば、指定個所をサーチします。

4 プレイボタンを押して演奏スタート

※再生中に操作した場合は不要です。



5 サーチボタンを2回押せば、再び指定個所をサーチします。

※ポーズ・停止中に操作した場合は、プレイボタンを押して演奏をスタートさせます。

※再生中に操作した場合は、頭出しの地点から演奏が始まります。



●ダイレクトサーチは、A-Bリピートやリターン&ストップと違って、分・秒(時間録音)、小節・拍(メトロノーム録音)で、選択されている曲の中の再生開始個所を指定できる機能です。サーチ個所は、電源を切ったりフロッピーを取り出すまで記憶しています。

●例えば②は、テンキーで ①②③④と入力します。

●再生中に操作すると、指定した個所から自動的に演奏がスタートします。ポーズ・停止中に操作すると、指定個所で一時停止します。プレイボタンを押して、演奏をスタートさせてください。



●実際の曲の長さより先の場所を指定すると、曲の末尾にサーチします。

